〇子供も大人も Happy に！かわいい雑貨づくり～くるみボタンの巻～

大街道にあるまちコミュスポット
てくるんにて開催

障がい者支援事業所 tetote～てとて～
に依頼し、くるみボタンづくりのワーク
ショップを開催

【結果】
障がい者が教える人となり、障がい者を理解してもらうことを目的に開催。
約 20 名の参加。
土曜日は家族で目的を持って商店街を訪れる人が多く、参加者は予想よりも少なかった。平日の方がてくるんへの来訪者（親子）が多いとのことで、もう少し事前の打ち合わせや情報入手が必要であった。

〇商店街店主向け研修会「障がい者支援から見たお店の FAN の作り方講座」

商店街店主ら 8 名が参加

各グループで障がい者体験を交えながらの自己紹介

愛媛大学法文学部鈴木靜先生に大学の授業のバリアフリー化の体験談、兵庫県明石市の商店街の事例等を話していただく。

NPO 法人ネセサリーフォーの信田さんに当事者から見た商店街のバリアフリーについて話していただく。

愛媛大学におけるバリアフリー化の一環として、大学の授業で障がい者への対応としてプリント類は先に配る、ゆっくり話すようにしたところ、一般の生徒から「先生の授業が分かりやすくなった」と言われたことなどを話してもらい、接客にも応用できること、障害者差別解消法における「合理的配慮」について分かりやすく説明してもらった。

また当事者からみた商店街のバリアフリーについて話してもらい、当事者の意見を聞くことの大切さを理解してもらった。

【結果】

講座の開催にあたり、1 月初旬に松山大街道商店街振興組合、大街道中央商店街振興組合、松山銀天街商店街振興組合、松山銀天街第一商店街振興組合、（株）まちづくり松山の協力を得て商店街の各店舗へ回覧板によるチラシ（案内）の配布、および複数の従業員を雇用している店舗へ直接チラシを持参し講座の案内と参加の呼びかけを行ったが実際のところあまり反応は良くなかった。（障がい者への接客の関心度はまだまだ低いのが現状である。）

愛媛大学の鈴木先生のアドバイスで兵庫県の明石市もバリアフリーのまちづくり（商店街づくり）に取り組んでいるが、1 店舗の協力してくれるお店から始まり、徐々に広がっていったとのアドバイスを頂き、まずは障がい者も快く受け入れるお店を 1 店舗作ることを目標とした。

結果講座に参加された町カフェ鎌倉さんのところで、障がい者への接客体験をすることとなった。